

動物実験に関する自己点検・評価報告書

奈良女子大学

令和4年10月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学における動物実験等に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学における動物実験等を適正に行うための指針が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学動物実験施設規程 奈良女子大学における動物実験等に関する規程 奈良女子大学動物実験施設運営委員会規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 奈良女子大学における動物実験等に関する規程に基づき、動物実験計画の承認、教育訓練、情報公開等の適正な実施に関して学長に報告又は助言を行う組織として動物実験施設運営委員会が設置されている。 動物実験等を実施する学部等の長および全学部から選出された委員に加えて保健管理センター所長も含めて構成されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学における動物実験等に関する規程 動物実験計画審査願 動物実験継続申請書 動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 奈良女子大学における動物実験等に関する規程および諸様式等により適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人奈良女子大学危機管理マニュアル 奈良女子大学組換え DNA 実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 実験等を行うにあたり、安全管理に関するマニュアルについてが、上記に記載されている。 遺伝子組換え実験については、動物実験計画申請時に当該実験が承認されているか（申請されているか）確認をしている。病原体を取り扱う実験は本学では行っていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験計画書 施設実態調査図面
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 施設実態調査図面及び実験計画書により学内の全ての飼養保管施設を把握するとともに、各施設に実験動物管理者を置いている。
4) 改善の方針、達成予定時期 飼養保管施設及び実験室について申請書の提出を求め、一覧表を作成した。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学における動物実験等に関する規程 奈良女子大学動物実験施設運営委員会規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会は年度当初に実施する動物実験計画を提出させ、委員会により審査を実施している。

飼養保管施設は基本的には動物実験飼育施設で行うこととし、他の場所で飼養を行う際には、委員会に届けることとしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

奈良女子大学における動物実験等に関する規程

各年度に実施する実験動物の飼育状況に関する調査

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

令和3年度は、新たに3件の動物実験計画の申請があり、3件が承認された。

また、実験動物の飼育状況に関する調査の結果(令和3年7月1日現在)は、飼育頭数はマウス（遺伝子改変マウス以外のもの）が520頭、マウス（遺伝子改変マウス）が2125頭、ラット（遺伝子改変ラット以外のもの）が16頭である。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

奈良女子大学組換え DNA 実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験施設で飼養されている遺伝子改変マウスについては、奈良女子大学組換え DNA 実験安全委員会により承認されている実験である。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 施設実態調査図 実験計画書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験施設の温度および湿度についてはそれぞれモニタを行い快適な環境を保っているが、炭酸ガス分圧についてはモニタが行われていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 計測機器を購入し、モニタを行うことにより快適な環境の保持に努める。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物飼育施設点検作業報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 外部委託業者により動物実験飼育室の設備について定期点検を依頼し、飼育環境の保持に努めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学における動物実験等に関する規程 動物実験施設使用上の注意 動物実験新規従事者講習会の開催通知および参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和3年度の実験実施者に対し、講習会を3月10日及び4月7日に開催した。 新規に動物実験に従事する者には講習を義務付けている。各年度に提出する動物実験計画書には受講の有無を記載することになっており、受講者名簿で確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 奈良女子大学ホームページ(法人情報／法人文書の公開) 動物実験に関する点検・評価報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価報告書については平成26年から実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

外部検証について、どのように実施するか検討している。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

実習についても実施計画書の提出を求め、委員会において審査を行った。